

私の略歴

安 田 淳

1960 年（昭和 35 年）6 月生

学 歴

- 1983 年 3 月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 1985 年 3 月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了
- 1989 年 3 月 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得満期退学

学 位

博士（法学）

職 歴

- 1986 年 4 月 防衛庁防衛研究所教官（～1995 年 3 月）
- 1990 年 4 月 慶應義塾大学法学部非常勤講師（～1995 年 3 月）
- 1995 年 4 月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 1999 年 4 月 慶應義塾大学法学部助教授
- 2005 年 4 月 慶應義塾大学法学部教授
- 2001 年 4 月 東洋英和女学院大学非常勤講師（～2010 年 3 月）
- 2003 年 9 月 防衛省防衛研究所部外講師（～2009 年 12 月）
- 2008 年 8 月 航空自衛隊幹部学校部外講師（現在に至る）
- 2013 年 2 月 航空自衛隊第 1 航空団部外講師（～2023 年 1 月）

- 2013 年 6 月 防衛省統合幕僚学校部外講師（現在に至る）
2015 年 4 月 東洋英和女学院大学非常勤講師（～2020 年 3 月）
2018 年 7 月 海上自衛隊第 2 術科学校部外講師（現在に至る）
2021 年 4 月 東洋英和女学院大学非常勤講師（～2024 年 3 月）

塾内役職歴

- 1999 年 10 月 大学法学部学習指導副主任（～2005 年 9 月）
2005 年 10 月 大学法学部学習指導主任（～2007 年 9 月）
2008 年 1 月 大学法学部学習指導副主任（～2009 年 9 月）
2011 年 10 月 大学法学部長補佐（～2015 年 9 月）
2015 年 10 月 大学法学部学習指導副主任（～2017 年 9 月）
2017 年 10 月 大学法学部長補佐（～2020 年 3 月）
2021 年 4 月 日吉インフォメーションテクノロジーセンター所長（～2023 年 9 月）

留学・在外研究

- 1988 年 9 月 高級進修生として中華人民共和国・復旦大学（～1989 年 8 月）
1997 年 4 月 訪問研究員として米国・スタンフォード大学（～1998 年 3 月）

専門分野

現代中国の軍事・安全保障政策

主要業績

単 著：

『中国の朝鮮戦争——その参戦・戦闘と停戦交渉』（仮題），慶應義塾大学出版会，2026 年春刊行予定。

共編著：

『台湾をめぐる安全保障』，慶應義塾大学出版会，2016 年 3 月。

『中国をめぐる安全保障』，ミネルヴァ書房，2007 年 7 月。

『中国世界への旅立ち 2001——初級中国語』，駿河台出版社，2001 年 2 月。

監訳書：

『知能化戦争——中国軍人が観る「人に優しい」新たな戦争』（龐宏亮著），五月書房新社，2021 年 3 月。

論稿：

「銃弾の下を潜り抜けて」，六四回顧録編集委員会編『証言 天安門事件を目撃した日本人たち』，ミネルヴァ書房，2020 年 10 月。

「航空路 M503 に翻弄される台湾——空をめぐる中台のせめぎあい」，『東亜』（財団法人霞山会）第 612 号，2018 年 6 月，20～29 頁。

「『国防と軍隊の改革』における制度・編制の改編——2015 年の中国人民解放軍」，『慶應義塾大学日吉紀要中国研究』（慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会）第 10 号，2017 年 3 月，181～215 頁。

「中国の空域統制と再編成——台湾にとっての新たな非伝統的安全保障の脅威」，安田淳・門間理良編著『台湾をめぐる安全保障』，慶應義塾大学出版会，2016 年 3 月，181～216 頁。

「『深化』が求められる『国防と軍隊の改革』——2014～2015 年の中国人民解放軍」『慶應義塾大学日吉紀要中国研究』（慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会）

第9号, 2016年3月, 73~96頁。

「多方面, 多分野に展開する『軍事闘争の準備』——2013~2014年の中国人民解放軍」, 『慶應義塾大学日吉紀要中国研究』(慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会)第8号, 2015年3月, 77~105頁。

「『中国の特色ある現代軍事力体系』構築と『威嚇』力——2012~13年の中国人民解放軍」, 『慶應義塾大学日吉紀要中国研究』(慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会)第7号, 2014年3月, 73~89頁。

「文化大革命と人民解放軍——軍隊院校教育をめぐる」, 加茂具樹他編著『中国 改革開放への転換——「一九七八年を越えて」』, 慶應義塾大学出版会, 2011年10月, 287~305頁。

「中国の空と安全保障——民間航空と軍との相克」, 『東亜』(財団法人霞山会)第525号, 2011年3月, 96~107頁。

「最近の中国軍事情勢——軍事闘争の準備と海軍力の発展について」, 『国際情勢 紀要』(社団法人国際情勢研究会)第81号, 2011年2月, 1~14頁。

「朝鮮戦争後期における中国人民志願軍——対着上陸作戦の懸念と準備行動」, 『法学研究』(慶應義塾大学法学研究会)第83巻第12号(2010年12月), 249~277頁。

「中国軍近代化の進展と日中関係」, 『国際情勢 紀要』(社団法人国際情勢研究会)第80号, 2010年2月, 1~16頁。

「中国の安全保障と東シナ海上空の航空管制」, 『国際情勢 紀要』(社団法人国際情勢研究会)第79号, 2009年2月, 1~16頁。

「東シナ海の航空交通管制と安全保障」, 慶應義塾大学法学部編『慶應義塾大学創立一五〇年記念法学部論文集 慶應の教養学』, 慶應義塾大学出版会, 2008年12月, 395~417頁。

「最近の中国軍事情勢——軍事政策の方向性を中心に」, 『国際情勢 紀要』(社団法人国際情勢研究会)第78号, 2008年2月, 1~11頁。

「陸軍の兵力とその近代化」, 村井友秀他編著『中国をめぐる安全保障』, ミネルヴァ書房, 2007年7月, 139~171頁。

「中国の航空管制と安全保障に関する一試論——南シナ海の『三亜飛行情報区』

を例にして」,『国際情勢 紀要』(社団法人国際情勢研究会)第77号,2007年2月,1~17頁。

「中国と台湾の軍事バランス——武力行使と特殊事情」,愛知大学国際問題研究所編『21世紀における北東アジアの国際関係』,東方書店,2006年3月,181~204頁。

「中国の対台湾武力行使の諸相——最近の中台軍事関係」,『国際情勢 季報』(社団法人国際情勢研究会)第75号,2005年2月,1~18頁。

「中国の朝鮮戦争停戦交渉——捕虜送還問題と軍事過程」,『法学研究』(慶應義塾大学法学研究会)第77巻第5号(2004年5月),1~36頁。

「軍事力と安全保障」,国分良成編『中国政治と東アジア』,慶應義塾大学出版会,2004年3月,219~240頁。

「中国の朝鮮戦争停戦交渉——問題の収斂と交渉の政治問題化」,赤木完爾編著『朝鮮戦争—休戦50周年の検証・半島の内外から』,慶應義塾大学出版会,2003年11月。

「文化大革命と人民解放軍の近代化——軍事訓練にみる軍の機能維持」,国分良成編著『中国文化大革命再論』,慶應義塾大学出版会,2003年3月,129~154頁。

「中国の安全保障と航空管制」,『国際安全保障』(国際安全保障学会)第30巻第4号(2003年3月),35~55頁。

「中国の朝鮮戦争停戦交渉——軍事分界線交渉と軍事過程」,『法学研究』(慶應義塾大学法学研究会)第75巻第1号(2002年1月),231~260頁。

「中台間の軍事平衡——可能發生的局勢及規避之策」,廖淑馨主編『美,台,中新世代與兩岸關係』,国立政治大学国際関係研究中心,2001年6月,141~162頁。

「中台間の軍事バランス——生起しうる事態とその回避」『問題と研究』第30巻第7号(2001年4月),79~91頁。

「中国の朝鮮戦争停戦交渉に関する一試論——外国軍隊撤退問題と軍事分界線問題」,『軍事史学』(軍事史学会),第36巻第1号(2000年6月),57~73頁。

- 「1998 年中国大洪水と中国軍」,『問題と研究』(問題と研究出版社), 第 28 巻第 10 号 (1999 年 7 月), 76~90 頁。
- 「中国の朝鮮戦争第三~五次戦役——停戦交渉への軍事過程」, 小島朋之編著『歴史の中の中国政治——近代と現代』, 勁草書房, 1999 年, 163~200 頁。
- 「中国の朝鮮戦争停戦交渉の開始に関する一考察」,『教養論叢』(慶應義塾大学法学研究会) 第 108 号 (1998 年 3 月), 1~28 頁。
- 「中国の党軍関係に関する一考察——党の軍隊に対する絶対的指導と軍の役割をめぐって」,『新防衛論集』(防衛学会) 第 24 巻第 1 号 (1996 年 6 月), 1~19 頁。
- 「東シナ海の空域をめぐる諸問題」,『民主主義研究会紀要』(社団法人民主主義研究会) 第 25 号 (1996 年 11 月), 61~82 頁。
- 「軍事面から見た兩岸関係」,『問題と研究』(問題と研究出版社) 第 25 巻第 10 号 (1996 年 7 月), 29~38 頁。
- 「中国人民解放军の対外関係」,『東亜』(財団法人霞山会) 第 346 号 (1996 年 4 月), 19~34 頁。
- 「軍事面から見た兩岸関係」,『東亜』(財団法人霞山会), 第 345 号, 1996 年 3 月。
- 「中国をめぐる軍事情勢について」,『同仁だより』(同仁倶楽部), 第 174 号, 1996 年 1 月。
- 「中国の朝鮮戦争第一次, 第二次戦役——三八度線と停戦協議」,『法学研究』(慶應義塾大学法学研究会), 第 68 巻第 2 号 (1995 年 2 月), 383~416 頁。
- 「中国建国初期の安全保障と朝鮮戦争への介入」,『法学研究』(慶應義塾大学法学研究会), 第 67 巻第 8 号 (1994 年 8 月), 33~70 頁。
- 「第 8 章 中国の朝鮮半島政策」, 小此木政夫編著『ポスト冷戦の朝鮮半島』, 財団法人日本国際問題研究所, 1994 年 6 月, 224~245 頁。
- 「中国の朝鮮戦争参戦問題」,『軍事史学』(軍事史学会) 第 30 巻第 2 号 (1994 年), 4~21 頁。